

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2～3 平成21年度施政方針
- P 4～7 むらの話題
- P 8～9 平成21年度当初予算など
- P 10～13 お知らせ
- P 14 東北福祉大学の合宿
- P 15 みんなの広場
- P 16 村民のうごき



今年度も阿室小中学校の教育活動である『稲作』がスタートしました。この日は、校区民の方々が協力し、田植え作業を行いました。今後は、夏に稲刈りを行い、収穫した餅米で餅つき大会も予定しているそうです。

【写真撮影＝阿室小中学校の校舎横にある田んぼ（4月9日）】

住んで良かった、住んでみたい
と思われる村づくりを目指して



宇検村長
國馬和範

平成21年度 施政方針

毎年、第1回目の村議会定例会で村長が
表明する施政方針は、その年度における政
策の方向性を示すものです。
今回、その施政方針の内容につきまして
掲載いたします。(※紙面の都合上一部抜粋)

はじめに

私も村長に就任しまして
三年目の折り返し点に入っ
て参りました。その間、選
挙公約の実現のため、議会
議員並びに村民のご協力を
得ながら一つ一つ取り組ん
でいるところです。

本村の将来を思うとき、
何としても村民と膝を交え
て語り合い村民の意見を十
分に聞き入れて村政に反映
させて行きたい考えであり
ます。先月より昨年実施し
ました集落座談会の報告会
も兼ねて再度、集落での座
談会を開いて意見を交わし
たところです。

何と言いましても、村お
こしは、行政と村民の皆様
が同じ目線で語り合い、情
報を共有し、地域住民が自
ら考えて、共生協働の村お
こしを進めるのが重要であ
ると考えております。

行財政改革

行財政改革は、村が平成
十七年度に策定しました行
財政改革実施計画及び集中
改革プランに基づいて実施
しておりますが、本年も事
務事業の見直し、組織機構
や定員管理・給与等の見直
しを行って経常経費の節減
を図って参ります。

組織機構の見直しでは、
現在、七課二局を五課二局
に改革するため、総務課と
企画課、建設課と経済課を
統合して組織のスリム化を
図ります。

給与等については、職員
の手当等は昨年で削減して
おりますが、特別職の三役
について、当分の間、給与
を十%減額し、議会議員の
皆さんについて、当分の間、
期末手当を二十%減額して
経費の節減を図って参りま
す。

整備事業

村内の県道、村道を始め、
他市町村との連絡幹線道路
等村民の生活に密接に関係
ある道路整備を強く要望し
て参ります。

急傾斜地事業については、
地域住民が安心して暮らせ
る住環境に整備するため、
昨年に引き続き阿室地区を
整備し完了させていきます。
住宅については、今年度
も川田団地の公営住宅の建
て替えを総合的に進めて参
ります。

簡易水道事業については、
今年度から一部事業計画を
見直し、湯湾地区から屋鈍
地区へも送水できるよう計
画を変更し、今年度は湯湾
地区に村内全体の水道水が
賄える浄水場、配水池を整
備し、以降は順次屋鈍地区
まで送水管を布設して参り
ます。

農業振興

以前から懸案事項であり
ました農産物の活性化セン
ター『結いの館』の完成後は、
農産物の製品開発等によつ
て村内の農林水産業の振興
は勿論、農家育成に大きく
貢献するものと期待してい
るところです。

担い手支援事業等を活用
して営農指導を徹底して取
り組み、タンカンの販路拡
大や高品質の生産が出来る
産地の確立及び、露地栽培
の春・秋の力ボチャ等の面
積拡大を図ります。

また、今年度はヨモギの
奨励も行い高齢者の方々の
農業への参加を促し、だれ
でもできる簡単な農作業に
おいて換金作物としての位
置づけを行い遊休地や荒廃
地の解消をも合わせた、高
齢者の生き甲斐作りを目指
していきます。

畜産振興

畜産振興については今後
ともあらゆる角度から畜産
団地の育成に努めると共に
飼料畑の面積拡大と収量の
増大を向上させたいと思っ
ております。

経営安定のため、引き続
き肉用牛導入基金等を活用
し繁殖牛の増産に努めます。

水産振興

焼内湾においては海面養
殖業が盛んに行われており、
本村の経済に及ぼす影響は
多大であるが、地元漁家経
営は依然として資本力が弱
い状況であります。

本年度も離島漁業再生支
援事業を導入しており、こ
の事業を活用しながら、ま
た、漁家所得向上対策とし
て、一本釣り漁業の振興の
推進を図って参ります。

消防・防災

今年度も集落内の自主防
災組織の避難訓練等の実施
や、昨年度より整備を進め
ている防災無線の更新、災
害・避難の緊急情報を受信
可能な携帯電話の購入者へ
の助成を実施するなど防災
のさらなる充実を図って参
ります。

観光・商工業

観光においては、都会の
方々に自然や農作業体験を
行っていただき、宇検村の
良さをPRし中長期滞在型
につながるっていくような施
策を講じて参ります。

商工業対策につきまして
は、商工会と連携して経営
の体質改善や、経営の合理
化、流通ルートの確立、経
営基盤の強化などを図る必
要があると思われれます。

林業振興

本村では循環型林業の形
態を目指します。

その一環として、チップ
工場から搬出されるパーク
の有効利用を図り農家への
安価で安定した肥料の供給
を目指します。

また循環型林業の施策と
して森林認証制度の取得を
行います、この制度は森林
の環境を守る為の認証制度
ですが生産者と消費者を結
ぶ「自然環境の信頼と安心」
を届ける制度です。

奄美大島は、国立公園や、
世界自然遺産登録を控えて
いる為どうしても取得必要
な制度です。そのためには、
木を育て、管理に持続的な
森林経営のための法的、制
度的枠組みを行い林業の活
性化を目指し、村有林に対
しては、すべてこの認証制
度で行います。

医療・保健福祉

保健・福祉・医療の充実
と生きがい対策等の施策を
重点に長期振興計画の「健
やかな暮らしを守り、あた
たかい地域を育む村づくり」
を目標とし、更なる創意工
夫をしながら職員一丸とな
って取り組んで参りたいと
思います。

介護保健事業におきまし
ては、包括支援センターに
よる情報集約を図り、訪問
健康指導等の充実や積極的
な第四次介護保健事業計画
の策定を展開しています。

障害者支援事業におきま
しては、本年度に村障害者
福祉計画の見直しを図り、
更なる本村の特徴を生かし
たサービステ体制の充実・強
化を図ると共に、きめ細か
な相談・支援・情報提供等
の支援ができる計画書を策
定して参ります。

教育行政

一、学校教育

本村の児童生徒の平成
二十年度の学力は諸学力調
査では国、県をおおむね上
回る成績でした。今後も先
生方の指導法の工夫、改善
と指導力の向上及び教師と
しての使命感、職責感に期
待すると同時に家庭学習の
定着を図っていきます。

基礎的学力向上のため今
年度から新たに田検小中学
校に特別支援教育を実施い
たします。

二、社会教育

社会教育の基本方針とし
ては、本村の持つ、よき伝
統文化や教育風土を生かし、
国際的視野に立つて学ぶ意
欲にあふれる人材育成と明
るく住みよい安全、安心な
村づくりに寄与する村民の
育成を目指します。



春の交通安全運動と地域安全運動

春の全国交通安全運動が4月6日から4月15日の期間に、地域安全運動が4月6日から4月20日の期間に、それぞれ実施されました。

その一貫として、本村でも色々な活動などが行われ、村民の交通安全と防犯意識の向上が図られました。

安全運転の呼びかけ運動のようす 4月7日には田検小学校の正門前にて、村交通安全協会と同校職員の皆さんによるドライバーへの安全運転の呼びかけ運動が行われました。同日には、田検中学校が県より交通安全優良団体表彰を受け、同校で表彰状が伝達されました。

4月9日には湯湾集落にて、防犯パレードが行われました。パレードには、村防犯協会、瀬戸内警察署のほか、スポーツ少年団や学校関係者も参加し、リーフレットの配布や横断幕を掲げるなどして、防犯意識の向上を呼びかけました。

4月10日の午後6時から8時には、夜間の交通事故防止を目的に『交通安全ナイトスクール』が湯湾会館にて行われ、約70名の村民の方が参加し、瀬戸内警察署より夜間交通の危険性などについて説明を受けた後、実際に夜間の横断歩道へ出て渡る体験などをしました。



▲交通安全優良団体の表彰状などを伝達される田検中の祝 義文校長



▲湯湾集落内をパレードしながら防犯を呼び掛ける参加者



▲夜間に横断歩道を渡る時の注意点などの説明を受ける参加者



楽しいお芝居に子供たちは満面の笑顔

子ども劇場でお芝居を楽しむ

4月11日に『子ども劇場』が、村元気の出る館において開催されました。

毎年この時期に開催される『子ども劇場』は、3年前より宇検村連合会（かあちゃん会・村こども会育成連絡協議会・村青年団連絡協議会・村商工会青年部・

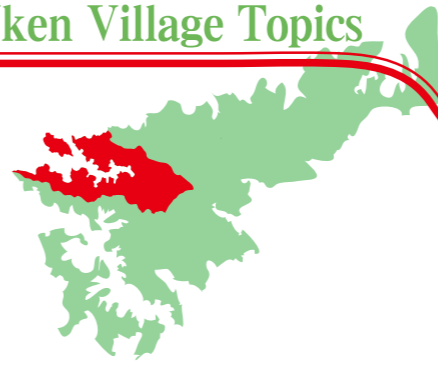
今年、劇団風の子九州の『ふらっと・ぶらっと』というお芝居が行われました。

ふらっとさんと、ぶらっとさんのお二人によるピンポン玉や新聞紙、折り紙などを使ったお芝居を観て、子ども達は驚いたり、喜んだり大きな歓声をあげながら最後まで楽しんでいました。

主催する連合会の皆さんは、「宇検村の子ども達が、お芝居を通して、初めての体験や新しい発見など、楽しみながら色々なことを感じてもらえるとうれしいです。」と話してくれました。



お芝居を披露するお二人



わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎0997-67-2211

短歌と写真の展示会を開催

～やけうちむら 暮らしの意匠展～



多くの方が来場したオープニングのようす

これは、本村のやけうち短歌会（大島 安徳 代表）の主催で行われたもので、日常生活をユーモアたっぷりに表現した作品など短歌314首が展示されたほか、同時に開催された地元学教室の写真展では、豊年祭やノロ祭祀など本村の民俗に関する写真と自然に関する写真など約100点が展示されました。

展示会には18日間で2,256名の方が来場し、宇検村の豊かな文化と歴史、大自然を楽しみました。

来場者からは、「宇検村の文化に触れることが出来、感動しました。」など多くの言葉を頂きました。



展示会にて宇検村の文化に触れる来場者

村内各小中学校で入学式

～小学1年生は徒歩での登校を初体験～



芦検集落から田検小学校までの約2.5kmの長い道のりを元気に集団登校する児童生徒

4月6日に村内各小中学校で入学式が行われ、小学校は計16名、中学校は計18名の新1年生が、真新しい制服に身を包み、これからの学校生活に向けて新たなスタートを切りました。

久志小中学校の入学式では、小学校へ入学した要かなめ 凱仁くんが氏名点呼で名前を呼ばれると、少し緊張しながらも「はい。」と可愛らしく返事をする姿を見ることができました。

入学式翌日の7日には、各小学校の新1年生の皆さんが、お兄さん、お姉さんと一緒に初めての集団登校を体験しました。

芦検集落から田検小までの長い距離を登校してきた田検小学校1年生の川畑 来夢さん、前田 蓮太郎くん、米田 千優さんの3人は「ちゃんと歩いて来たよ！」と笑顔で話してくれました。



少し緊張したようすの凱仁くん